

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連予算の実績

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
5月臨時 2月補正	特別定額給付金事業費	総務課	18,669,703	18,669,698	全市民を対象に一律10万円を支給する「特別定額給付金」。 ・特別定額給付金 18,630,000千円(186,300人) ・給付に係る事務費 122,103千円 (会計年度任用職員5人、職員派遣業務30人程度、システム導入業務、申請書等印刷・封入・発送業務、振込手数料等)	・特別定額給付金給付実績 80,289世帯 18,591,600千円(185,916人) ・給付に係る事務費実績 78,098千円 (主なもの)会計年度任用職員報酬 2,017千円 郵券料 19,612千円 振込手数料 8,864千円 職員派遣業務委託 14,202千円 システム導入委託 11,833千円
9月補正 2月補正	新型コロナウイルス感染症緊急対策基金積立金	行財政改革課	633,443	633,443	新型コロナウイルス感染症に対する利子補給事業に充てるため、鳥取市新型コロナウイルス感染症緊急対策基金に積み立てる。基金は、国の制度に基づき令和7年度に廃止する。	積立金 633,443千円
6月先議 2月補正	新型コロナウイルス感染症対応職員費(時間外)	職員課	30,940	30,940	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、対応する職員の時間外勤務手当、その他手当、特殊勤務手当 ・時間外勤務手当、休日勤務手当、特殊勤務手当 30,940千円	・時間外勤務手当 28,380千円 ・休日勤務手当 1,779千円 ・管理職特別勤務手当 26千円 ・特殊勤務手当 755千円
6月先議 2月補正	新型コロナウイルス感染症対応職員費(雇用)	職員課	9,952	8,929	新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、雇止め等悪化した雇用情勢への緊急的対策として体制拡充となる臨時的な職員を雇用 ・会計年度任用職員11人 9,952千円	【会計年度任用職員 8名採用】 ・会計年度任用職員報酬 6,825千円 ・会計年度任用職員期末手当 720千円 ・会計年度任用職員共済費 1,202千円 ・会計年度任用職員通勤費 182千円
9月補正 2月補正	電子入札導入事業費	検査契約課	8,176	77	電子入札により入札を執行することで、入札参加者の来庁が必要なくなることから、感染拡大期等においても安全に入札執行が可能となる。また、通常期においても入札参加者の移動・待ち時間、移動経費の減少による負担軽減に寄与するもの。さらに、入札の透明性の向上、入札に係る事務の効率化、手続の迅速化が図られるとともに、総合評価方式等の複雑な入札制度における、より正確な対応が可能となる。	令和2年11月30日 指名型プロポーザル指名通知送付 令和2年12月21日 指名型プロポーザル審査会 令和2年12月23日 最優秀提案者決定 令和3年1月～2月 契約交渉、仕様決定 令和3年2月 2月議会に繰越明許上程 令和3年3月30日 契約締結
6月先議 7月臨時	本庁舎等管理費	財産経営課	5,901	5,898	市役所本庁舎等での新型コロナウイルス飛沫感染の防止を図る。 ・来庁者用のアルコール消毒液を設置 317千円 ・ウイルス飛散防止の仕切り板を設置 2,964千円 ・アルコール消毒液を置くスタンドの増設 1,325千円 ・窓口用ベルトパーテーションスクリーンの設置 297千円 ・ソーシャルディスタンス確保用床シートの購入 580千円 ・会議室等貸出用非接触型体温計の購入 418千円	・来庁者用のアルコール消毒液を設置 284千円 ・ウイルス飛散防止の仕切り板を設置 2,964千円 ・アルコール消毒液を置くスタンドの増設 1,211千円 ・窓口用ベルトパーテーションスクリーンの設置 297千円 ・ソーシャルディスタンス確保用床シートの購入 545千円 ・会議室等貸出用非接触型体温計の購入 418千円 ・ウイルス飛散防止仕切り板の追加 179千円
9月補正 2月補正	スマート市県民税申告環境整備事業費	市民税課	925	841	確定申告受付時の新型コロナウイルス感染症対策として、自宅で市県民税申告書を作成することができるASPサービスの導入、市県民税申告受付会場での感染症防止のために必要なマスク、アルコール消毒液、パーテーション等を購入する経費。 ①申告書作成ASPサービスの導入経費(カスタマイズ含) 550千円 ②ASPサービス月額料(3か月) 99千円 ③市内4か所の申告会場における感染症防止対策 485千円 (パーテーション、マスク、アルコール消毒液、除菌ウエットティッシュ等)	・市県民税申告書作成システムの導入費 374千円 ・市県民税申告書作成システム利用料 66千円 ・市県民税申告会場における感染症防止対策用品購入費 401千円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 2月補正	子ども食堂・地域支え合い活動補助金	人権推進課	4,000	2,670	(1)笑顔チケット事業(テイクアウト食料引換) 子どもが家庭での食事に困難を抱える世帯に「笑顔チケット(テイクアウト食料引換券)」を配布し、世帯は協力店でテイクアウト料理を受け取り、協力店はチケットを「鳥取市地域食堂ネットワーク」へ回付し、食材費等の換金を受ける。 (2)子ども食堂利用世帯への見守り巡回(家庭訪問)事業 相談員(カウンセラー、心理相談員)、子ども食堂運営団体スタッフが相談を希望する世帯及び家庭状況の把握等が必要な世帯へ居宅訪問をし、生活相談や家庭が抱える課題の聞き取りを行い、中央人権福祉センターが報告を受け、適切かつ迅速な相談支援につなげる。	(1)テイクアウトチケットを7月上旬、8月下旬、9月中旬に配布。 【チケット利用状況】 換金枚数 5,339枚 ・補助金交付 2,670千円 (2)運営団体が、チケット配布のお知らせ連絡時やチケット配布時に、家庭状況等の聞き取りを実施。
7月臨時 2月補正	フードサポート事業費	人権推進課	2,043	1,274	鳥取市地域食堂ネットワークが行う、「食品ロス削減」などの観点から食品を提供いただける法人等の拡大と、フードドライブへの市民の協力を促す活動の強化を支援し、提供された食品等の効率的かつ効果的な活用を図る。	10月から人員を確保し、必要な備品を揃え11月から実施。 新規:食品提供企業等2社。 ・補助金交付 1,274千円
5月臨時 7月臨時 12月補正	生活困窮等包括的支援事業費	人権推進課	31,662	24,900	(1)住居確保給付金支給 離職等により住宅を失うおそれのある生活困窮者に対し家賃相当の「住居確保給付金」を有期で支給。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年4月20日以降、支給対象が「離職、廃業後2年以内の者」に加えて「給与等を得る機会が当該個人の責に帰すべき事由・当該個人の都合によらないで減少し、離職や廃業と同程度の状況にある者」も含まれることとなった。 (2)事務補助職員を1名新規雇用し、相談支援体制を強化する。 (3)生活困窮者への支援強化の為、相談支援体制の環境整備や感染症対策といった自立相談体制の強化を図る。	(1)相談件数 215件、申請件数 114件、のべ支給月 693月 支給額 20,147千円 (2)相談支援業務補助員を雇用 ・会計年度任用職員報酬 1,042千円 (3)相談体制強化の整備 ・相談ブース設置費 1,735千円 ・相談支援ツール整備費 1,077千円
9月補正 2月補正	男女共同参画センターオンライン環境整備事業費	男女共同参画課	488	451	新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEB会議やオンライン講座等を開催できる環境整備に係る経費 (1)オンライン関連 ◆会議用ワイヤレス・65型液晶ディスプレイ・ディスプレイスタンド・HDMIケーブル・Web会議用PC・Web会議用小型スピーカーフォン ◆LAN敷設 (2)感染症対策 ◆非接触体温計・アルコール消毒液	(1)オンライン関連 ・会議用ワイヤレス1台 10,120円 ・Web会議用スピーカーフォン1台 17,710円 ・ディスプレイ・スタンド・HDMIケーブル・Web会議用PC 369,930円 ・LAN敷設 14,000円 (2)感染症対策 ・非接触体温計2個 14,000円 ・アルコール消毒液17本 24,310円
5月臨時	避難所用衛生用品購入事業費	危機管理課	3,942	3,940	避難所(指定避難所30か所、想定収容人数25,730人)開設に係る「新型コロナウイルス感染症対応」避難所用衛生用品購入 ◆マスク・アルコール消毒液・ハンドソープ・手袋・ビニール袋・ペーパータオル	◆マスク、アルコール消毒液等確保 マスク(大人用) 26,000枚 子ども用マスク 5,000枚 透明マスク 30枚 フェイスシールド 300枚 アルコール消毒液 240本 除菌シート 160パック ハンドソープ(ポンプ) 100本 ハンドソープ(詰替え用) 57本 清掃用ビニール手袋 59パック ゴミ袋 510パック ペーパータオル 150パック ビニールエプロン 150着 養生テープ 360個 ビニール紐 72個 メジャー 144個
6月先議	警防業務費	危機管理課	2,708	2,704	消防団(本部+51分団、団員定数1,354人)の緊急時出動等に際し、団員等の感染拡大防止を図るための物品購入経費 ◆非接触体温計、マスク、手指消毒用アルコール	◆マスク、アルコール消毒液等確保に係る経費 非接触体温計 52本 マスク 16,000枚 マウスカバー 1,354枚 手指消毒用アルコール 54本

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 7月臨時 2月補正	防災備蓄事業費	危機管理課	44,118	42,936	<p>【6月先議】 避難所(指定避難所30か所、想定収容人数25,730人+緊急避難場所42か所、想定収容人数35,340人)開設に際し、避難所での感染防止のための物品購入経費</p> <p>◆マスク・アルコール消毒液・ハンドソープ・手袋・ビニール袋・ペーパータオル・間仕切り・ダンボールベッド・非接触型体温計・仮設トイレ用テント・簡易トイレ</p> <p>【7月臨時】 同避難所における換気、熱中症対策に必要な器材の調達他</p> <p>◆大型扇風機・ドラムコード・発電機・ガソリン携行缶</p>	<p>◆マスク、アルコール消毒液等確保 マスク(大人用) 35,000枚 フェイスシールド 1,000枚 使い捨てガウン 960着 透明マスク 100枚 アルコール消毒液 130本 ハンドソープ(ポンプ) 138本 ハンドソープ(詰替え用) 87本 清掃用ビニール手袋 91パック ゴミ袋 210パック ペーパータオル 210パック タオル 6,200枚 間仕切り 290台 ダンボールベッド 144台 銀マット 220枚 非接触型体温計 144本 簡易トイレ用テント 50基 簡易トイレ用凝固剤(100回分) 50箱 サーマルカメラ 13台 足踏み式消毒液スタンド 40台 投光器 30台 障がい者用仮設トイレ 27台</p> <p>◆大型扇風機288台・ドラムコード288台 ・発電機72台・ガソリン携行缶72個 保管場所は小中学校、支所、備蓄倉庫、自主避難所。 ・高所作業台 1台 ・パレット60枚 ・デッキチャンネル688本 ・ワイヤレスマイク1式 ・間仕切りハンドル</p>
9月補正	防災ラジオ整備事業費	危機管理課	96,884	96,884	<p>防災ラジオ販売委託業務において、コロナ禍で高まった市民の防災意識により、大幅に需要が増えた防災ラジオの販売数量を増台する経費</p> <p>◆防災ラジオ販売委託業務(追加)</p>	<p>◆防災ラジオ販売数量 10,343台(8,327円/台) ◆流通管理委託費用 10,757,450円</p>
12月補正	鳥取市業務継続計画策定事業費	危機管理課	13,178	0	<p>本市の業務継続計画に、激甚化する水害や新型コロナウイルスをはじめとした感染症への対策を盛り込むことで、様々な条件下で発生する災害等に迅速かつ適切に対応する体制を構築するための、業務継続計画(BCP)策定に係る業務委託経費。</p> <p>◆業務継続計画(BCP)策定業務委託</p>	<p>◆業務継続計画(BCP)策定業務委託の入札公告を施行 契約締結日 令和3年3月31日</p>
4月臨時 2月補正	環境大学運営費交付金	政策企画課	402	0	<p>公立鳥取環境大学が新型コロナウイルス感染症の影響で、家計が急変した学生に対する授業料等無償化(減免)にかかる経費について、運営費交付金(修学支援新制度分)として交付する。 ○負担割合 県:1/2 市:1/2</p>	申請0件
7月臨時 2月補正	シティセールス推進事業費	政策企画課	3,105	3,105	<p>麒麟のまち圏域におけるパートナーシップの醸成、来訪者を歓迎するおもてなしの心のPR、感染予防対策に取り組むため、ステッカーとオリジナルウェットティッシュ・除菌ハンドジェルを作成し、配布するもの。 ・麒麟のまちパートナーステッカー作成費:495千円(1,600枚) ・PRウェットティッシュ作成費:990千円(6,000個) ・PR除菌アルコールジェル作成費:1,914千円(1,500個)</p>	<p>・麒麟のまちパートナーステッカー作成費:765千円(1,600枚配布済、1,000枚増刷配布済) ・PRウェットティッシュ作成費:495千円(6,000個納品配布済) ・PR除菌アルコールジェル作成費:1,846千円(1,500本納品配付済)</p>
7月臨時 2月補正	環境大学運営費交付金(授業料減免制度分)	政策企画課	2,679	1,742	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、経済的に困難な状況に陥っている学生を支援するため、公立鳥取環境大学が独自に設ける減免制度に必要な経費について運営費交付金を支給。 ○事業費 24,679千円 負担割合 県:1/2 12,340千円、市:1/2 12,340千円</p>	<p>○交付確定額 1,742千円 減免申請者 39人分</p>

予算 計上	事業名称	所属名称	R2年度 最終予算額	R2年度 決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 12月補正 2月補正	市内大学生 支援事業費	政策企画課	19,188	19,177	本市に所在する大学及び専門学校に対し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学生を支援することを目的として行う事業について交付。 ○交付率 10/10 ○対象事業 (1)大学等が学生を臨時的に直接雇用する事業 (2)大学等が学内で実施する感染防止対策及び環境整備	○交付確定額: 19,177千円 ※内訳(1)大学等が学生を臨時的に直接雇用する事業 11,737千円 4件 (2)大学等が学内で実施する感染防止対策及び環境整備 7,440千円 8件
7月臨時 2月補正	ふるさと鳥取 市・県外学生 支援事業費	政策企画課	20,811	20,811	本市から県外に進学した学生に対し、米や農産物加工品等を詰め合わせた「トットリー氏からのがんばる出身学生応援便」を送付。夏便、秋便、冬便のうち、希望する2つの便をお送りし、学生の生活支援、本市への愛着の醸成につなげることを目的とする。 ○事業費 24,000千円(※対象者2,000人×2便)	○契約先: (株)地域商社ととり ○申請人数: 1,834人(R3.1/15締切最終) ○発送件数: 全3,560件(R3.1/15締切最終) うち夏便発送数812件 秋便発送数1,449件 冬便発送数1,299件 ○実績額 20,810,242円
6月先議 7月臨時 9月補正	市政広報費	秘書課	21,010	20,818	情報の伝達力が強いメディアの特性を生かしながら、新型コロナウイルス感染症に関する情報や市の方針・施策について効果的に情報提供を行っていくことで、市民生活の安心・安全を確保する。	①新聞折込チラシ(八切版)・・・8回実施 2,987千円 ②新生活様式啓発シール(B5判):小学生対象 304千円 ③新聞記事下広告(日本海新聞)・・・4回実施 1,309千円 ④折込集合広告(新聞折込・ポストイン)・・・4回実施 389千円 ⑤テレビスポットCM(TSK、BSS)・・・週3回放送 7,700千円 ⑥鳥取駅前地下道広告 電照広告設置 132千円 ⑦感染防止啓発タペストリー、懸垂幕等制作 354千円 ⑧Youtube/バンパー広告配信 7,645千円
6月先議 2月補正	民間ミュージ アム等応援事 業費	文化交流課	3,781	3,729	入館(場)者数が落ち込んだ民間ミュージアムや、民間ギャラリーを支援することで、地域の文化芸術活動の持続・発展を図る。 ①民間ミュージアム支援 令和元年と令和2年の4月～6月の入館(場)料収入の差額相当分のチケットを購入、市民等へ配布 (上限)500千円 ②民間ギャラリー支援 地域の美術工芸等の担い手作家が民間ギャラリーで開催する展示会に要する経費を補助 (上限)100千円	①契約件数 7館 チケット購入額計 2,667,000円 各施設ごとに入館チケットを配布 ②交付決定 15件(うち2件事業中止) 奨励金支払 13件 1,062,000円
6月先議 9月補正 2月補正	文化芸術の まちづくり推 進事業費	文化交流課	7,529	7,528	地域の文化芸術団体の活動・入門講座等をラジオ放送、インターネット動画等で公開、地元芸術家の活動を促進する。 ①団体活動広報(ラジオ放送、動画公開) 2,640千円 ②入門講座公開 1,498千円 ③活動支援(施設利用料減免) 1,156千円 ④地元芸術家活用事業補助 200千円×4件 =800千円 ⑤事務費 115千円 ⑥地元芸術家紹介事業(ラジオ放送、動画公開) 1,320千円	①FM鳥取で文化団体の活動を紹介 2,640,000円(16団体) ②文化芸術各分野の入門講座公開 15分野 動画撮影編集 748,000円 動画企画制作 750,000円 ③3月末時点追加減免額 ・市民会館 692,290円 ・福祉文化会館 24,480円 ・文化センター 439,210円 計 1,155,980円 ④助成件数 4件 800,000円 ⑤消毒用消耗品等 114,058円 ⑥FM鳥取で芸術家バンク登録者を紹介 1,319,780円(7件)
9月補正 2月補正	市民会館施 設管理費	文化交流課	1,061	1,060	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料1,060千円
9月補正 2月補正	学習・交流セ ンター感染症 予防対策事 業費	文化交流課	209	209	国際交流事業、公民館事業、学童保育事業などで多くの利用者がある「学習・交流センター鳥取」の感染拡大防止対策を講じるため各部屋の換気機能を高める。 ・網戸追加設置 11箇所	プラザ北面、西面アルミ窓網戸取付 (R2.10設置) 委託料 209,000円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	超高速情報 通信基盤整 備事業費	情報政策課	2,060,974	421	<p>本市が所有する有線テレビジョン放送施設の老朽化及び高速化対応のため超高速通信網の整備(FTTH化・通信部分)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象範囲:CATV公設民営エリアの中の光化未整備地域 エリア:鳥取地域:明治 <ul style="list-style-type: none"> 東部地域:国府(一部)、福部 南部地域:河原(一部)、用瀬、佐治 西部地域:気高(一部)、鹿野、青谷(一部) 整備内容:伝送路設備の光ファイバー化、局舎、局舎内設備 	<p>8/7:整備事業者選定のための公募型プロポーザル公告 8/20:令和2年度無線システム普及支援事業費等補助金公募申請 9/10:プロポーザルにより最優秀提案者を決定 業者名:(株)NTTフィールドテクノ中国支店 11/27:公募申請に対する内示を受電、補助金交付申請 12/22:総務省から交付決定 12/25:見積合わせ実施、業者決定(株)NTTフィールドテクノ中国支店 R3/1/18:令和3年1月議会臨時会 契約締結議決1,966,800,000円 R3/1/15:工事監理業務締結(株)アイ・コミュニケーション 11,000,000円 R4/3末:工事完了予定</p>
6月先議 2月補正	テレワーク環 境整備事業 費	情報政策課	13,395	12,968	<p>(1)東部地区発熱・帰国者・接触者相談センター環境整備事業 相談センターの情報ネットワーク環境を整備する。 (2)GIGAスクール対応学校ネットワーク設定変更業務 GIGAスクールへ対応するため、各学校と情報HWを接続するネットワーク環境を整備する。 (3)テレワーク環境整備事業 感染拡大防止対策やBCP(業務継続)の観点から、モバイル通信(閉域網)機器とノートPCの機器整備および、WEB会議等を用いた外部との会議・協議等を行うためのネットワーク環境整備によりテレワーク環境を整備する。</p>	<p>(1)東部地区発熱・帰国者・接触者相談センター環境整備事業 ・LAN敷設 220,000円 ・ネットワーク機器(認証スイッチ)購入 847,440円 (2)GIGAスクール対応学校ネットワーク設定変更業務 ・鳥取市立学校接続整備 152,625円 ・CATV回線利用料 412,500円 (3)テレワーク環境整備事業 ・WEB会議ネットワーク設定変更 1,540,000円 ・閉域モバイル回線増設 1,291,400円 ・LGWANノートPC 50台 4,504,500円 ・Ip電話設備構築 1,980,000円</p>
6月先議	地域の魅力 磨き上げ事業 費	地域振興課	1,000	1,000	<p>新型コロナウイルス感染症の収束を見据えて、地域の多様な魅力ある資源をPRする動画を作成し、インターネット動画配信することにより、地域振興や移住定住の取り組みを活性化させる。 委託料 撮影委託料1,000千円</p>	<p>撮影委託料 1,000千円 7/1契約、(支払いは7月,10月,1月に分けて概算払) 12月末に動画撮影作業を完了し、1月から編集作業に着手。 3月末完成、YouTube鳥取市公式チャンネルにて公開。</p>
7月臨時 2月補正	オンライン移 住相談事業 費	地域振興課	1,010	728	<p>オンライン移住相談(オンライン会議システムの活用)の環境を整備し、場所を問わずに全国の移住希望者に活用いただくことで、移住者の獲得に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン移住相談窓口設備整備費(備品等購入) 480千円 オンライン移住相談窓口オープンキャンペーン報償費 630千円(学生モニター10千円×50人、一般モニター5千円×10人、アドバイザー報償費80千円) 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン移住相談窓口設備整備費(備品等購入)【オンライン相談用】 ノート型パソコン143千円、スピーカーフォン20千円 ヘッドセット・メモリーカード4千円、iPad50千円 ポータブルWi-Fi2台使用料等63千円 ZOOMライセンス使用料 33千円 地域素材撮影用】 デジタルカメラ74千円 【オンライン移住相談窓口オープンキャンペーンの募集開始8/25~】 オンライン移住相談窓口オープンキャンペーン報償費 学生10千円×28人=280千円、一般5千円×11人=55千円 オンライン移住相談アドバイザー報償費 1千円×2h×3回=6千円
7月臨時	新市域振興 推進事業費	地域振興課	1,000	1,000	<p>周遊自転車イベントのコース走行動画を作成してインターネット上で情報発信を行い、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域の地域資源や観光資源等のPRを行う。 大規模周遊自転車イベントリスタート支援補助金1,000千円</p>	<p>大規模周遊自転車イベントリスタート支援補助金 1,000千円 9月補助金交付決定、概算払完了 動画撮影は完了し、走行動画は10月18日に配信完了 短編の地域PR動画も随時公開。</p>

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 7月臨時	地区公民館 感染症対策 事業費	協働推進課	5,504	5,504	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての地区公民館(62館)に対して、飛沫感染防止用マスクや非接触型体温計、消毒液等の衛生物品を配布する。また、各館が、利用実態に合わせて必要な衛生物品を適宜補充することで、館の利用者が安全・安心に利用できる環境を提供する。	感染予防対策衛生用品:5,504,000円 下記用品を購入し、各館へ配布(利用頻度等をふまえて、各館において必要な物品を適宜補充した。) ・手指用消毒液(アルコール):全62館配布済 ・非接触型体温計:全62館配布済 ・マスク:全62館配布済 ・消毒用物品(拭き取り用ペーパータオル・次亜塩素酸消毒液・手袋)ほか:全62館配布済
7月臨時	スマート窓口 システム構築 事業費	市民課	39,732	3,449	来庁者の窓口滞在時間を短縮するため、システム導入・改修等を行い、窓口の混雑解消を図る。 ①スマート窓口システム構築等委託費 37,689千円 (住民異動届等のペーパーレス化・らくらく窓口証明書交付サービス) ②総合窓口支援システム改修費 1,980千円 (システムから出力される住所氏名等が予め印字された申請書の種類の拡充) ③プリンター購入費 63千円(窓口に設置)	①住民異動受付システム…令和4年1月運用開始 35,431千円 (令和3年度に繰越して執行) らくらく窓口証明書交付サービス…令和3年1月運用開始 1,406千円 ②令和2年11月末に改修済み 1,980千円 ③プリンター3台設置済み 63千円
6月先議	緊急小口資金等相談窓口環境整備 事業費	地域福祉課	2,314	2,314	鳥取市社会福祉協議会が行う個人向け生活福祉資金(緊急小口資金、総合支援資金)の相談窓口の環境整備に対する補助。 ・感染拡大、相談環境の充実に係る窓口整備費 (飛沫感染防止アクリル板等設置、マスク、アルコール消毒液等購入、外国人、聴覚障がい者対応の翻訳機購入)	・ポケットク 196千円 ・飛沫感染防止アクリル板等の設置 466千円 ・マスク、アルコール消毒液等 567千円 ・超音波噴霧器等 988千円 ・非接触体温計 97千円
6月先議 2月補正	福祉避難所 環境整備 事業費	地域福祉課	1,403	1,403	公共施設における福祉避難所の環境整備費。 ・パーテーション(W200cm×D200cm×H130cm) 折りたたみベッドの購入	・パーテーション 42台 1,017千円 ・折りたたみベッド 26台 386千円
6月先議 2月補正	鳥取の温泉 で元気しゃん しゃん事業費	地域福祉課	1,901	1,786	高齢者・障がい福祉施設に温泉を配送し、施設利用者の元気回復を図る。 ・温泉配送業務委託 (申請受付、配送手配、配送料等の支払) ・温泉配送備品購入補助	・【温泉配送業務委託料】1,701千円 委託先:特定非営利活動法人 鳥取県地域観光推進研究所 延べ30件実施。 ・【温泉配送備品購入補助金】85千円 交付先:吉岡温泉町自治会 水中ポンプ、ホース、タンク蓋等購入
6月先議 9月補正 2月補正	介護サービス 事業継続支 援事業費	長寿社会課	29,755	24,001	介護サービス事業所がサービス提供を継続するために必要な経費や、環境整備をするための費用を補助する。 ①マスク・消毒液等の衛生用品の購入補助 1事業所上限50,000円 ②接触軽減等に活用されるICT機器の購入補助 1事業所上限100,000円 ③休業要請を受けた事業所が代替サービスを提供する等の場合の かかり増し経費補助(国補助制度を活用したもの) ④介護施設で感染者が発生した場合に、緊急的に放出するため、備蓄用衛生用品を購入する。	①202事業所、10,028千円 ②141事業所、13,472千円 ③申請なし ④防護服4,650枚、プラスチックグローブ3,100枚(S:1,100枚、M:1,500枚、L:500枚)購入済
6月先議 7月臨時 2月補正	在宅介護予 防事業費	長寿社会課	3,685	3,430	高齢者が外出自粛要請の中、在宅でも要支援・要介護状態になることを予防できるよう、自身で取り組める運動等の指導・習慣化を行い、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進する。 ①訪問型 概ね週1回利用者宅を訪問 6,153千円 ②放映型 鳥取市広報番組内で介護予防運動の紹介 200千円 ③ICTを活用したチェックリストシステムで対象者の身体状況をその場で確認 4,832千円	①訪問型 10名 354千円 ②放映型 1回 50千円 ③チェックリストシステム導入契約 3,026千円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
9月補正	緊急包括支援事業費	長寿社会課	444	266	鳥取県が実施する新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(国の二次補正に伴うもの)を利用し、各地域包括支援センターで使用する衛生用品等感染症対策に要する物品購入を行う。	マスク・消毒液等の衛生用品等の購入費:266千円
9月補正 2月補正	砂丘ふれあい会館管理費	長寿社会課	6,463	6,463	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料6,463千円
9月補正 2月補正	湯谷荘管理費	長寿社会課	1,168	1,168	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料1,168千円
6月先議 7月臨時 9月補正 12月補正 2月補正	障がい福祉サービス事業所等支援事業費	障がい福祉課	21,345	16,877	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービス事業所等への業務発注により利用者の仕事を確保する。 ・受注が落ち込んでいる就労継続支援事業所の仕事内容をPRするためのチラシの作成・配布を行う。 ・障がい福祉サービス事業所等に対して感染予防のための衛生用品購入補助を行う。 ・生産活動収入が減少している就労継続支援事業所に対して生産活動の存続を下支えするための経費の支援を行う。 ・入所施設等での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時に放出するための防護具の備蓄を行う。 ①布マスク購入 4,400千円(550円×8,000枚) ②作業所PR用チラシ等 374千円(12,000枚作成) ③衛生用品購入補助 12,500千円(50千円×250事業所) ④生産活動活性化支援 37,800千円(600千円×63事業所) ⑤防護服等購入 876千円(561円×1,560枚) ⑥クラスター等発生時にかかるサービス継続支援事業 2,654千円	①布マスク購入 園児用マスクを購入・園へ配布済み。 4,400千円 ②作業所PR用チラシ等 237千円(チラシ10,000枚作成) ③衛生用品購入補助 4,690千円(申請数 29法人97事業所) ④生産活動活性化支援 生産活動6,000千円(申請数 11法人12事業所) 工賃確保1,300千円(申請数 10法人13事業所) ⑤防護服等購入 防護服 231千円 1,560枚 グローブほか 19千円 1,560枚 ⑥クラスター等発生時にかかるサービス継続支援事業 実績なし
4月臨時 6月先議 2月補正	放課後等デイサービス支援事業費	障がい福祉課	3,991	3,811	学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用増加部分に係る利用者負担等に対する支援。 ・利用者負担金助成 570千円 ・国民健康保険団体連合会負担金 6,790千円	・利用者負担金助成 44千円 ・国民健康保険団体連合会負担金 3,767千円 ・利用実績 430人
6月先議	国民健康保険費特別会計へ繰出	保険年金課	1,659	1,659	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応に必要な経費に係る国民健康保険費特別会計への繰出。 ・事業勘定分 訪問指導等を実施する場合の感染拡大防止対応 438千円 ・直診勘定分 佐治診療所における感染拡大防止対応 医科:618千円 歯科:603千円	・事業勘定分 訪問指導等を実施する場合の感染拡大防止対応 マスク、消毒液、体温計等の購入 438千円 ・直診勘定分 佐治診療所における感染拡大防止対応 医科:マスク、フェイスシールド、診療着等の購入 618千円 歯科:マスク、手袋、ガウン等の購入 603千円
4月臨時	保育環境改善等事業費	こども家庭課	10,000	2,555	新型コロナウイルス感染症対策のための衛生用品等の購入費補助 補助対象:届出保育施設(認可外保育園) 20か所 1か所当たり上限50万円 ・補助金 10,000千円(500千円×20か所)	認可外保育施設 7法人、8カ所に対し補助金交付 2,555,000円)
4月臨時	幼稚園一般管理事務費	こども家庭課	1,500	269	市立幼稚園(3園)における新型コロナウイルス感染症対策のための衛生用品等の購入 1,500千円	消毒液等の衛生用品購入 38,115円 加湿空気清浄機 11台 231,110円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
5月臨時2月補正	子育て世帯への臨時特別給付金事業費	こども家庭課	256,571	256,343	児童手当を受給する世帯(特例給付世帯を除く)に対し、児童1人当たり1万円の臨時特別給付金を支給する。 対象: 中学校終了前の児童 15,000世帯26,000人 扶助費: 26,000人×1.1(安定率)×10,000円=286,000千円 システム改修費等 事務費 9,746千円	【臨時特別給付金】 一般受給者 12,066世帯 20,656人 公務員受給者 2,344世帯 4,133人 計 14,410世帯 24,789人 【事務費】 システム改修、印刷物契約 会計年度任用職員1名配置等 8,453千円
6月先議2月補正	児童扶養手当受給世帯への臨時特別給付金事業費	こども家庭課	51,387	51,144	児童扶養手当を受給する世帯、1世帯当たり3万円の臨時特別給付金を支給する。 給付金: 55,770千円(1,859世帯×30,000円) 事務費: 730千円(通信運搬費等) 合計: 56,500千円	【臨時特別給付金】 1,686世帯 50,580千円 【事務費】 通信運搬費等 564千円
7月臨時2月補正	新生児みらい応援特別給付金事業費	こども家庭課	136,133	123,415	以下の要件を満たす方に特別給付金として、新生児1人につき10万円を給付する。 ①令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子どもの親(世帯) ②申請日時時点で、申請者と対象となる子どもの住民登録が鳥取市にあること ※出生届の提出は鳥取市外でも可 ○給付金: 135,000千円(新生児1,350人分) ○事務費: 1,533千円(申請書印刷等事務費)	【出生児数(対象児数)】 1,275人(R2.4.28~R3.3.31生) 【特別給付金】 1,224人 122,400千円 支給済(※3/31までに申請済の方) 51人 5,100千円 R3繰越(※4月1日から4月30日までに申請済の方) ※申請率100% 【事務費】 印刷事務費等 1,015千円
7月臨時	児童館感染症緊急包括支援事業費	こども家庭課	6,000	6,000	児童館(12館)の衛生用品等購入: 6,000千円(1カ所あたり500千円) ・補助金 6,000千円	児童館の運営法人への補助。 (500,000円×12カ所=6,000,000円)
7月臨時12月補正2月補正	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費	こども家庭課	307,327	282,626	ひとり親世帯であって、下記①~③に該当する世帯に給付金を支給する。 ①令和2年6月分の児童扶養手当を受給している世帯 ②公的年金給付等を受けていることで児童扶養手当を受給していない世帯 ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった世帯 ○児童扶養手当受給世帯等への給付: 152,630千円(2,353世帯) 上記の①②③ 1世帯5万円 第2子以降1人につき3万円 ○収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付: 80,650千円(1,613世帯) 上記の①② 1世帯5万円 ○案内チラシ印刷、発送等の事務費: 9,037千円 ※申請期限: 令和3年2月末 基本給付を改めて支給する「再支給」を令和2年12月に支給。(12月追加分)	【臨時特別給付金】 《基本給付》 ①令和2年6月分の児童扶養手当受給世帯 1,684世帯 109,550千円 ②公的年金受給世帯 43世帯 2,870千円 ③家計急変世帯 95世帯 6,640千円 《追加給付》 ①令和2年6月分の児童扶養手当受給世帯 752世帯 37,600千円 ②公的年金受給世帯 20世帯 1,000千円 《再支給》(12月追加分) 基本給付再支給 1,822世帯 119,060千円 【事務費】 発送等事務費 5,906千円
7月臨時	保育園等感染症緊急包括支援事業費	こども家庭課	47,000	27,893	保育園等(94カ所)の衛生用品等購入、補助(1カ所あたり500千円) ・市立施設(31カ所)の衛生用品、備品等の購入 15,500千円 保育園22園 地域子育て支援センター9カ所 ・民間施設(63カ所)の衛生用品等の購入費補助 31,500千円 保育園21園 認定こども園7園 地域型保育事業所11園 認可外保育施設20園 地域子育て支援センター4カ所	【市立施設】 ・市立保育園 22園 消毒液等衛生用品 1,913,689円 非対面型園児用テーブル 217台 5,698,000円 加湿空気清浄機 3台 63,030円 ・市立地域子育て支援センター 9カ所 加湿空気清浄機 18台 378,180円 【民間施設】 補助金交付 16法人 19,840,000円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時	幼稚園緊急環境整備事業費	こども家庭課	1,500	368	市立幼稚園(3カ所)の衛生用品、感染対策備品等購入:1,500千円 (1カ所あたり500千円) ・需用費 158千円 ・備品購入費 1,342千円	備品購入費(非対面型園児用テーブル 14台) 367,613円
5月臨時	妊娠・出産包括支援事業費	こども家庭相談センター	500	320	国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、産後ケア事業を行う施設の感染拡大防止対策に必要な、衛生用品等を購入し配布する経費。 ・経費内容 マスク、消毒液等購入費 500千円 ・事業の対象 産後ケア事業を実施する市内5施設	感染防止対策用品(マスク・消毒液等)の配布 320千円
9月補正	若草学園管理運営費	こども発達支援センター	380	380	国の緊急経済対策により県が実施する、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(障がい福祉サービス等分)を活用し、児童発達支援センター若草学園において最大限の感染症対策を実施。 ○感染防止対策品(マスク・消毒・飛散防止パネル・非接触体温計等)の配置 ○保育室等設備の消毒清掃	感染防止対策消耗品(マスク・消毒・飛散防止パネル)を配備し、感染対策の徹底を図った。 感染防止対策備品(非接触体温計)の配備により、通園児、来園者、職員等の日々の健康(体温)管理を徹底した。 保育室等空調設備の消毒清掃を実施し、室内での感染防止の徹底とともに療育環境の向上を図った。
5月臨時 6月先議 9月補正 12月補正	感染症対策推進事業費	保健医療課	174,909	125,363	発熱・帰国者・接触者相談センターの相談体制強化に要する経費(会計年度任用職員6人増員)、保健所職員感染予防に係る衛生用品等の購入費、感染拡大防止啓発用チラシ・ポスター等に要する経費、ドライブスルーPCR検体採取に係る医師報酬等経費、PCR検査等検査委託費、保険診療による検査に係る自己負担額助成等の経費、軽症者用移送車両購入経費等 会計年度任用職員(相談対応)6人増員経費 報酬 1,414円×週19時間×51週×4人=5,481千円 1,414円×週16時間×51週×2人=2,308千円 共済費 24千円 通勤手当 469千円 保健所職員感染予防に係る衛生用品等の購入費 防護キット 990千円、液体培地等 906千円、 除菌クロス等 820千円、N95マスク等 898千円 情報管理機器 974千円 感染拡大防止のための市民への周知経費 <学校、保育園、スーパー、コンビニ等への ポスター・チラシ配布> 啓発チラシ印刷代 2.64円×70,000枚=185千円 啓発ポスター印刷代 52.8円×2,400枚=127千円 ポスター等郵送代 220円×400通=88千円 ドライブスルー方式によるPCR検査検体採取体制の整備経費 医師報酬等 10,579千円 保険診療による検査及び入院医療費に係る自己負担額助成等の経費 PCR検査等自己負担額助成等 37,627千円 入院医療費自己負担額助成 6,000千円 PCR検査等検査委託 県衛生環境研究所及び民間検査機関検査委託 101,736千円 感染症患者軽症者用移送車購入費等 軽症者用移送車両購入費等 4,086千円 会計年度任用職員(検体収集・運搬業務)2人経費 報酬 130,000円×5月×2人=1,300千円 共済費 211千円 通勤手当 100千円	会計年度任用職員(相談対応)経費 報酬等 4,337千円 保健所職員感染予防に係る衛生用品等の購入費 液体培地等医薬材料費 3,120千円 情報管理機器等備品 1,177千円 消耗品 579千円 感染拡大防止のための市民への周知経費 <学校、保育園、スーパー、コンビニ等への ポスター・チラシ配布> 啓発チラシ印刷等 429千円 ドライブスルー方式によるPCR検査検体採取体制の整備経費 医師報酬等 4,033千円 保険診療による検査及び入院医療費に係る自己負担額助成等の経費 28,132千円 PCR検査等検査委託 県衛生環境研究所及び民間検査機関検査委託等 83,557千円 感染症患者軽症者用移送車購入費等 軽症者用移送車両購入費等 3,893千円 (納車はR3年度の見込、繰越対応)

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
12月補正	感染症対策推進事業費	保健医療課	1,386	693	新型コロナワクチンが実用化された場合に迅速かつ適切に接種を開始する体制を確保するため、予防接種台帳システム(健康管理システム)の改修を行う経費とする。 健康管理システム改修(新型コロナワクチン接種対応) 1,386千円	健康管理システム改修(新型コロナワクチン接種対応) 693千円 残額693千円は令和3年度へ繰越
6月先議	市立病院貸付事業費	保健医療課	1,000,000	400,000	新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う受診抑制、受診制限による減収に備えるため短期貸付を実施し、市立病院の安定的な運営を図る。	12月1日に400,000千円の貸付実行
6月先議 12月補正	市立病院事業会計へ繰出	保健医療課	27,428	27,428	鳥取市病院事業会計に繰り出し、院内感染防止経費・医療従事者に対する特殊勤務手当及び時間外勤務手当の支給に要する経費・医療従事者用の宿泊施設借上に要する経費とする。 飛沫感染防止アクリル板等の設置 300千円 患者同線分離のための整備等 496千円 休日事務当直委託の増員 2,310千円 ドライブスルー検体採取(医師・看護師の件費) 13,869千円 防護キット及び廃棄物処理費 1,293千円 感染症に関わる医療従事者に対する特殊勤務手当 7,240千円 帰国者・接触者外来等医師時間外手当等 1,710千円 医療従事者の宿泊 210千円	令和3年5月25日に市立病院に繰出
5月臨時	子育て世代包括支援センター運営費	健康・子育て推進課	125	125	国の通知に基づき、妊婦に対してマスクを配布する。 このうち、すでに妊娠届を提出している方に対して、郵送で対応するもの。	国から順次配送されてくるため、4度に分けて発送。 7月末で妊娠届提出済みの方への発送完了。 1,187通発送。 125千円執行。
5月臨時	健康教育等事業費	健康・子育て推進課	1,355	1,355	国の通知に基づき、訪問時に着用するエプロン、マスク等を整備する。 また、各種の集団健診の際に受診者の体温を安全に測定するため、非接触式の体温計を整備するとともに、感染防止のためのスタッフ用エプロン、マスク等を整備する。	非接触式体温計 11本。121千円執行済。 スタッフ用エプロン・予防衣 166着。230千円執行済。 マスク・消毒液等 1,004千円執行済。
7月臨時	集団健診等感染症対応事業費	健康・子育て推進課	615	614	7月から開始される集団健診の会場での感染防止を図るため、スタッフ用のフェイスシールドや、密室となる駅南庁舎用の除菌器具等を整備する。	フェイスシールド200枚、消毒液等 224千円執行済み。 除菌器具 390千円執行済み。
5月臨時 7月臨時	新型コロナウイルス拡大防止支援金	経済・雇用戦略課	6,000	4,500	市の「新型コロナウイルス感染症患者の行動歴による店舗・施設等公表基準」による協力依頼に応じていただく事業者に対し支援金を支給することで新型コロナウイルス感染の拡大防止を図る。また、本市が行う新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みに関する誤った情報が広まり、経営に影響を受けた事業者に対しても同様に支援するもの。 ○経費の内容:店舗名等の公表に応じた事業者及び市が行う感染拡大防止の取り組みに関する誤った情報が広まり、経営に影響を受けた事業者に対し、支援金を支給する経費。(300千円×20件)	①公表対象事業者への交付(支給):7件 ②公表以外の対象事業者への交付(支給):8件 交付金額:4,500,000円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
5月臨時 2月補正	中小企業者 経営持続化 給付金	経済・雇用戦 略課	213,263	140,217	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に大きな影響を受けた中小企業者に対して、市独自の給付金を支給することで、事業の継続を下支えするもの。</p> <p>○経費の内容：感染症の影響により、売上が前年同月比で30%以上減少をしている国の持続化給付金の対象とならない市内の中小企業者に対し、300千円を支給する経費。</p> <p>①給付金 300千円×1,600件 ②会計年度任用職員4名、広告料、印刷製本費等 20,000千円 ○対象者：市内中小企業者</p>	<p>交付件数：459件 交付金額：135,555,948円</p> <p>広告費：557,700円 新聞広告3回、業界団体へのチラシ配布、ケーブルテレビ、新聞折り込みチラシによる周知を実施。</p>
6月先議 2月補正	中小企業雇 用維持支援 事業費	経済・雇用戦 略課	10,000	9,316	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う一時的な休業により労働者の雇用の維持を図ろうとする事業者に対し、雇用調整助成金の申請に係る経費の一部を支援することにより、雇用の安定及び事業活動の継続を図ることを目的とする。</p> <p>○経費の内容：市内の中小・小規模事業者が雇用調整助成金申請を社会保険労務士に依頼した場合に要した費用の一部（補助率2/3・上限10万円）を支援。</p> <p>①社会保険労務士による代行申請の手数料助成経費 100千円×200件 ○対象者：市内に事業所を有している事業者で国の雇用調整助成金の受給が決定した方</p>	<p>交付決定：123事業者（1事業者あたり複数回の申請有） 交付金額：9,316,000円</p>
5月臨時 7月臨時 2月補正	飲食店緊急 応援キャン ペーン事業費	経済・雇用戦 略課	48,531	48,524	<p>市内飲食店で活用することのできる割増付食事券発行事業を支援することで、飲食業事業者の経営を下支えするとともに、消費意欲を高め、地域経済の活性化を図るもの。</p> <p>○経費の内容：割増付食事券発行事業を支援する経費。</p> <p>①7月末までの利用券発行 40,000千円×40%＝16,000千円（割引部分） ②8月末までの利用券発行 40,000千円×40%＝16,000千円（割引部分） ③9月末までの利用券発行 40,000千円×20%＝8,000千円（割引部分） ④事務費 10,000千円 ○対象者：割増付食事券発行事業を行う事業者</p>	<p>7月末までの利用券（第1弾）8,000冊が即日完売したことを受け、8月末まで利用できる利用券（第1弾追加分）を8,000冊追加で増刷しており、9月末までの利用券（第2弾）8,000冊と合わせて、これまで計24,000冊の発行を行っている。なお、市民からの要望を受け、第1弾追加分及び第2弾については、抽選による販売とした。</p> <p>市内504店舗が本事業に参加し、店舗への換金総額は、115,012千円（販売額面総額115,565千円の99.5%）となった（第1弾：39,808千円、第1弾追加分：37,692千円、第2弾：37,512千円）。</p>
6月先議	物産振興体 制強化事業 費	経済・雇用戦 略課	3,000	3,000	<p>地元産品の販売促進、販路拡大のための普及啓発を図るキャンペーン開催を委託する経費。</p> <p>①プレゼントキャンペーン：収束後に市内宿泊施設を利用した観光客に対して、抽選により地元産品を贈呈する経費。 ②地元応援フェア：観光施設等の休業により滞留している地元産品を地域内で消費するための応援企画開催にかかる経費。 ・キャンペーン開催委託費 3,000千円 （売り場装飾、看板など需用費358千円、広告宣伝、賞品代など役務費2,160千円、諸経費482千円）</p>	<p>①プレゼントキャンペーンを7月11日から1月11日まで実施（抽選応募締め切り1月末。順次発送。）</p> <p>②地元応援フェアを7月4日から1月11日まで実施 売上実績：2,943,237円</p>
7月臨時 2月補正	コロナ克服 商店等V字回復 セール支援事 業費	経済・雇用戦 略課	18,000	12,064	<p>商店街組合等が売上回復のために共同で行うキャンペーンや割引セールについて、割引額を含む経費の一部を支援することで、消費を喚起し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>○経費の内容：商店街組合、商店グループなど複数社で売り上げ回復のために取り組む販売促進事業にかかる経費 2,000千円×20件 ○対象者：市内中小企業者（小売業、卸売業、飲食業、娯楽業）が複数で割引又は割引に相当するものを伴う事業であって、売り上げの向上に資すると認められるもの。</p>	<p>交付決定件数：9件 交付金額：12,064,000円</p>

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時	関西情報発信拠点推進事業費	経済・雇用戦略課	6,800	6,800	① 鳥取市食材ふるまいキャンペーン … 固定客であるランチ利用者のディナー利用を促すため、飲食店への販売量が激減した市地酒を買い取り、1杯目を無料でふるまい。鳥取市食材の輸送費を負担し地元価格での提供を行う特別メニューを提示。 ② ディスプレイを充実 … 店内のディスプレイを再活用 ③ 「とっとり市」商品との連動 … 「とっとり市」のショーウィンドウ的な役割を担い、食品モニターを行い、顧客からのSNSでの発信などを促す。 ④ HP、SNS等の情報再発信 … 既存HPや公式FBなどとの連動を強化。SNS等で2・3などの情報発信を行う。 ⑤ 広告媒体への掲載など … 同じビル内で行われている「朝日カルチャースクール」への広告を強化。	① 9月から12月に実施。 ② 2種の映像を作成し、店内放送等で使用。 ③ 食品モニター（試食サービス）は新型コロナウイルス感染症対策で見送り、とっとり市紹介活動を行う。 ④ 公式FB等のSNSとHPとの連動が可能となるようHP作成し、情報発信を行う。 ⑤ 大阪日日新聞などでの広報活動等を行う。
7月臨時	インターネットショップ事業費	経済・雇用戦略課	11,317	11,317	30%商品価格オフのクーポン・送料無料キャンペーンの実施、これに伴う広告宣伝費・諸経費	8月1日からキャンペーンを実施。9月16日予算上限到達により終了。キャンペーン期間中の売上は22,966千円。
7月臨時 2月補正	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出	経済・雇用戦略課	652	652	4月から12月までの期間の市場土地使用料を減額する。 <減額基準> 取扱高前年対比 30%以上減 全額 取扱高前年対比 15%以上減 半額	<実績> 花き … 4月・5月全額 11月半額 水産 … 4月全額・5月半額
9月補正 2月補正	鳥取市緊急雇用創出事業費	経済・雇用戦略課	3,000	400	新型コロナウイルス感染症拡大により事業主都合で内定取り消しや解雇となった労働者を雇用した事業者を支援することで、離職を余儀なくされた人の早期再就職を促進する。 対象者：市内に本店又は支店を置く企業等 対象労働者：令和2年4月1日以降に事業主都合により内定取り消しや解雇となった者 支援メニュー：① 対象労働者を短時間労働者として雇用 ② 対象労働者を正規雇用 補助金額：①50千円（補助率4/5） ②300千円（定額）	① 交付決定件数：1社（8人） 交付金額：400,000円 ② 交付決定件数：0件 交付金額：0円 ※交付決定件数は、コロナ禍で経営状況の悪化や先行きが見通せない中、企業等が正規雇用に踏み切れなかったことや、国の雇用調整助成金の特例措置の期間延長により、事業主都合の大量離職が防止されたことが要因と考えられる。
9月補正	かみんぐさじ管理事業費	経済・雇用戦略課	435	435	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料435千円
4月臨時 6月先議 9月補正 2月補正	制度融資資金	企業立地・支援課	12,628,569	12,628,569	県との協調による制度融資において、貸付実行した金融機関に対し協調割合に応じた市負担分を預託するもの。 新型コロナウイルス感染症の影響により売上等が減少した事業者の資金繰りを支援するため、地域経済変動対策資金（令和元年度国際経済変動）に新型コロナウイルス感染症による影響に係るものが追加され、貸出実行が増加している。 （融資実行件数2,560件、融資総額53,057百万円分の予算）	支出済額 12,628,569千円（10月預託分まで） （R2.8月末時点 融資実行件数2,962件、融資総額64,958百万円） （R3.1月末時点 融資実行件数3,801件、融資総額79,973百万円） （R3.3月末時点 融資実行件数4,075件、融資総額84,474百万円）
6月先議 7月臨時	雇用維持・創出支援事業費	企業立地・支援課	600,000	520,531	市内に拠点を有する製造業（正規従業員数20人以上）で新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上高が減少しながらも、雇用維持のため新規事業に着手するための投資経費や国内・県外で行っていた事業を統合し、市内に拠点を移転するための経費を支援するもの。 補助率：1/2 補助上限額：新規事業に着手する経費 50,000千円 拠点の移転に要する経費 10,000千円	補助指定決定済事業 件数：14件（うち1件は市内へ生産拠点を移転する事業） 補助金交付見込額：600,000千円（次年度へ繰越して執行）

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 2月補正	ビジネスマッチング支援事業費	企業立地・支援課	4,225	4,225	飲食業等が考案した、持ち帰りメニュー等の情報発信等、地域で連携して行うことにより、地域のビジネスの拡大につながる新たな取組みを支援するもの。 対象経費：情報発信に係る経費（備品レンタル代、動画、ウェブサイト制作やSNS代行、パンフレット作成費、広告料など） 補助率：10/10 補助上限：250千円	補助指定決定済事業 件数：17件 補助金交付額：4,225千円（既存事業予算含めた予算額6,000千円）
7月臨時 2月補正	企業立地促進補助金	企業立地・支援課	1,568	493	コロナ禍において、地方へのオフィス移転の流れを鳥取に取り込むため、市内のテナント等を賃借し、県外からオフィスを市内に移転又は新設する事業者及び移転又は新設を検討している事業者を支援する。 対象経費： ①オフィスを本市内に移転又は新設しようとして検討している事業者が試験的に本市内に滞在し、オフィス環境を視察したり鳥取ワークを体験するための経費 ②オフィスを本市内に移転・新設する事業者が賃借するテナント等の改修費及び移転・新設する設備等の移送・購入経費 補助額： ①補助率：1/2 補助上限額：1人あたり5万円、1社あたり50万円 ②補助率：1/2 補助上限額：1千万円	①補助指定決定済事業 件数：4件 補助金交付見込額：1,018千円 ②補助指定決定済事業 件数：1件 補助金交付見込額：550千円
4月臨時 9月補正 2月補正	各種金融対策利子補助金	企業立地・支援課	120,456	117,921	県との協調融資である地域経済変動対策資金（令和元年度国際経済変動・新型コロナウイルス感染症関連）並びに中小企業小口融資において、売上高等が一定以上減少している市内に事業所を有する中小企業者等が当該資金を借入した場合、その利子相当額を補助する。（県が1/2負担） ①令和元年度国際経済変動・コロナ枠（融資利率：0.7%固定金利） 補助率 100%（利子0.7%相当。うち県1/2負担） 補助期間 3年、5年又は国費補助終了後の2年（申込時期により異なる） ②中小企業小口融資 補助率 売上高等の減少率15%未満の場合 50%（うち県1/2負担） 15%以上の場合100%（うち県1/2負担） 補助期間 3年	上期分（1～6月）利子補助交付済 交付済額 49件（金融機関への交付も含む） 18,180千円 下期分（7月～12月）利子補助交付済 交付済額 30件 99,741千円
12月補正 2月補正	企業誘致推進費	企業立地・支援課	1,815	1,815	本市の企業立地の優位性をPRする動画を作成し、広く情報発信することで、効率的な誘致活動を展開するとともに、ワーケーションモデルプランを作成し、動画による情報発信をすることで、ワーケーションの適地としての鳥取を広くアピールし、都市から地方への新しい人の流れを取り込む。 ①オンライン広報活動 企業誘致用動画を作成し、ウェブ広告を掲載して、SNSによる情報発信及び拡散を狙う。 また、本広告で関心をいただいた企業に対して、ビデオ会議等の手法により企業誘致・ワーケーション誘致活動を展開していく。 ②ワーケーションプランの作成 「鳥取市ワーケーションモデルプラン」を作成して、旅行商品として展開し、併せて情報発信することで、さらなる集客効果を目指す。	①PR動画作成 ・企業立地ガイド動画（11本）、ワーケーション紹介動画（2本） ・SNS広告運用（2021.2～） Facebook、Instagramの広告掲載により、動画配信（YouTube） ②緊急事態宣言発令により事業実施を中止

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 2月補正	観光地施設 整備事業費	観光・ジオ パーク推進課	6,136	6,136	①砂の美術館サーモグラフィーカメラ設置(委託料) 予算額:5,335千円 ②感染予防対策に係る消耗品(消耗品費) (消毒液、マスク、ベルトパーテーションなど) 予算額:891千円	①鳥取砂丘砂の美術館サーモグラフィーカメラ設置委託業務 ・入口2カ所に設置済(6月末) 業務契約額:4,950,000円 ②道の駅清流茶屋かわはらサーモグラフィーカメラ設置業務 ・入口に設置済(12月末) 業務契約額:295,570円 ③感染予防対策に係る消耗品 総額:889,958円 ・来館者用消毒液(201ℓ) :253,410円 ・来館者配布用マスク(3,600枚) :88,308円 ・密接防止ベルトパーテーション(50本) :299,750円 ・注意喚起用サインスタンド(10本) :148,500円 ・来館者用消毒液置台(10台) :99,990円
6月先議	広域観光開 拓・推進事業 費	観光・ジオ パーク推進課	6,422	6,422	①観光コンテンツ(体験メニュー)の作成、②販売システムの導入に係る(一社)麒麟のまち観光局への負担金 予算額:総事業費8,030千円×8割(鳥取市負担金割合)=6,422千円	①観光コンテンツ(体験メニュー)の作成 ・8月3日～11月13日まで各市町事業者向け説明会を実施。 ・2月12日時点で192件の新規コンテンツ提案を受理。 ・3月末時点で販売可能なコンテンツを152件に精査。うち50件を販売実施コンテンツとし、残りは商品化を継続検討。 ・販売実施分は、観光体験商品のオンライン販売サイト「アンビュー」へ掲載予定。 ②販売システムの導入 ・10月20日付でアンビューと基本契約締結 ・観光コンテンツ販売事業者と受注オペレーションなど、各種調整事項が確定次第、アンビューへ順次掲載。
6月先議 7月臨時	観光産業育 成支援事業 費	観光・ジオ パーク推進課	20,000	19,244	①観光事業者が取り組む事業回復や感染予防に資する事業に対する支援 予算額:200千円(補助率4/5)×25件=5,000千円 ②複数の観光事業者が連携し取り組む誘客事業に対する支援 予算額:1,000千円(補助率4/5)×5件=5,000千円 ③観光事業者が地域と連携して取り組む、地域固有の資源を生かした着地型観光コンテンツの開発に対する支援 予算額:5,000千円(補助率10/10)×2件=10,000千円	①観光事業者が取り組む事業回復や感染予防に資する事業に対する支援 交付件数:25件、交付総額:4,404千円 ②複数の観光事業者連携し取り組む誘客事業に対する支援 交付件数:5件、交付総額:4,848千円 ③観光事業者が地域と連携して取り組む、地域固有の資源を活かした着地型観光コンテンツの開発に対する支援 交付件数:3件、交付総額:9,992千円
6月先議	V字回復推進 事業費	観光・ジオ パーク推進課	60,388	60,344	①宿泊キャンペーンの展開(事業委託先:鳥取市観光コンベンション協会) 予算額:53,898千円(5千人規模) ②新たな観光プロモーション動画の作成 予算額:6,490千円	①宿泊キャンペーンの展開(委託額:53,854千円) ・7/11～ 県民限定としてキャンペーン開始。 9/1～ 対象エリアを新温泉町、香美町、中四国に広げて展開。 10/14～ 対象エリアを全国に拡大。 12下旬～ 対象エリアを県内に限定。 ・参画宿泊施設:33施設、周遊クーポン事業参画施設:68施設 ・最終実績 宿泊者数実績:6,556人 日帰り団体食事利用者数実績:3,630人 ②新たな観光プロモーション動画の作成(委託額:6,490千円) ・動画制作事業者と構成案を協議済 ・映像撮影(9/21～10/22) ・編集作業(11月～1月末) ・本編2作完成予定(2月末) ・ダイジェスト版、多言語版を含む最終納品(3月中旬) ・市公式YouTube等インターネット上で動画公開。市内観光施設各所で順次放映実施。

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議 2月補正	鳥取市道の 駅管理運営 費	観光・ジオ パーク推進課	27,917	27,917	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	①道の駅清流茶屋かわはら指定管理料8,166,028円 ②道の駅神話の里白うさぎ指定管理料8,989,250円 ③道の駅西いなば気楽里指定管理料10,761,090円
7月臨時	国内観光客 周遊促進事 業費	観光・ジオ パーク推進課	16,964	16,959	①国内観光客向け格安観光周遊タクシーの運行支援 予算額:12,454千円 ②高速バスへの観光情報ラッピング広告(日ノ丸自動車・日本交通各1台) 予算額:4,510千円	①国内観光客向け格安観光周遊タクシーの運行支援 ・補助金額:12,287千円、チラシ作成費:162千円 ・8/1～運行開始。11/30予算上限到達につき運行終了。 ・運行台数:1,320台 ②高速バスへの観光情報ラッピング広告 ・委託額:4,510千円 ・日ノ丸、日交ともに車体へのラッピング施工が完了し11/2～運行開始
7月臨時	砂の美術館V 字回復推進 事業費	観光・ジオ パーク推進課	17,595	17,592	①3Dプロジェクションマッピングイベントの実施及びプロモーションに係る経費 予算額:17,596千円(委託料) (映像コンテンツ制作及び設営費10,394千円、音響設営費4,217千円、プロモーション経費2,985千円)	①砂の美術館3Dプロジェクションマッピング実施業務 ・委託先:鳥取砂丘砂の美術館活性化共同企業体(指定管理者) ・委託額:17,391,000円 ・業務内容:3Dプロジェクションマッピング(3/13～28)に係るコンテンツ制作・プロモーション・コロナ対策の実施など ・3月の開催に向け準備中 ②砂の美術館タペストリー製作設置業務 ・委託額:200,200円 ・業務内容:砂の美術館PRタペストリーの製作及び設置 ・市役所内に設置完了済
9月補正	砂の美術館 管理運営費	観光・ジオ パーク推進課	30,279	30,279	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	①鳥取砂の美術館指定管理料30,278,903円
9月補正	河原城管理 事業費	観光・ジオ パーク推進課	682	682	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	①河原町お城山展望台指定管理料681,754円
9月補正	たんぼり荘、 山王谷キャン プ場管理運営 費	観光・ジオ パーク推進課	523	523	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	①佐治町自然環境活用センター、たんぼり荘及び山王谷キャンプ場指定管理料522,920円
6月先議 9月補正 2月補正	観光施設運 営事業費特 別会計へ繰 出	観光・ジオ パーク推進課	33,969	33,968	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。 観光施設運営事業費特別会計への繰出金。	①しかの温泉館・国民宿舎山紫苑指定管理料31,417,605円 ②気高町遊漁センター指定管理料2,550,197円
12月補正	ループバス運 行支援助成 費	観光・ジオ パーク推進課	3,607	3,607	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少し、委託料と運賃収入での事業継続が困難となった観光周遊バス「ループ麒麟獅子」の運行継続に必要な経費を委託するもの。(事業委託先:鳥取市観光コンベンション協会) 予算額:3,607千円	観光周遊バス「ループ麒麟獅子」運営の継続に関する業務委託 委託期間:R3年1月～3月末 委託先:鳥取市観光コンベンション協会 委託額:3,607千円 委託期間中利用者数:1,989人(対前年比:約29%)
4月臨時	収穫作業等 援農支援事 業	農政企画課	460	0	農業者が新型コロナウイルスに感染し、営農の継続が困難な期間中の農産物生産の業務継続を図るため、JA等が実施する援農組織を活用し、援農者を雇用した際に要する経費を補助する。 ・収穫作業等援農支援事業費補助金 460千円(2団体程度) (日当、交通費、消耗品費(衛生用品)に係る経費の10/10(県1/2、市1/2)を補助)	・2団体程度を見込んでいたが、申請なし

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	農業経営ジャンプアップ事業費	農政企画課	26,190	26,190	ロボット技術・ICT機器等の先端技術を導入して作業を効率化・省力化し、事業の継続だけではなく、今後の経営基盤を強化し、新型コロナウイルス感染症の影響に左右されない事業者の育成を図る。 ・農林漁業経営ジャンプアップ事業費補助金26,190千円 (スマート農業機器や営農システム、新たな販路開拓のためのサイト構築費用等への支援 補助率2/3、補助金の限度額666千円)	・申請107件 申請額26,190千円 ・農業用ドローン、自動草刈り機、電動剪定バサミ、アシストスーツなど導入
7月臨時 2月補正	若者応援農の雇用支援事業費	農政企画課	4,500	4,374	新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト収入が減少した学生と、従来から人手不足の農業現場とをマッチングし、学生の生活の維持と農産物の安定生産を図る。学生に支払われる時給から農業者等負担額350円を控除した額と限度額850円を比較し低い額を補助金として支払い、通勤費は全額、被服費は1人あたり5,000円を上限に補助する。 ・若者応援農の雇用支援事業補助金4,302千円(バイト代、通勤費、被服費) ・人材バンクへの委託料(学生への周知)198千円	・農家からの求人 47件(133人分)(ブドウ・梨の収穫、ラッキョウの植え付け、ほ場の草刈り、イチゴの収穫、白ネギの収穫など) ・学生からの応募 133人(鳥大・環境大) ・アルバイトの延べ時間 4,577時間 ・アルバイト代総額 5,778千円(通勤費、被服費含む) ・申請額4,176千円 ・人材バンクへの委託料 198千円
9月補正 2月補正	農産物加工センター管理運営費	農政企画課	775	775	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	・鳥取市国府町転作促進集会研修施設8,181円 ・鳥取市青谷町特産物加工販売施設709,602円 ・鳥取市東郷農産物加工施設56,520円
7月臨時 2月補正	林業経営ジャンプアップ事業費	林務水産課	2,666	1,332	ICT技術等の先端技術を活用して、経営基盤の強化・改善を目指す林業事業体とその導入経費を支援。 ・対象者 市内の林業事業者(4名を想定) ・補助率 2/3(補助対象事業費上限:1,000千円) ・事業費 4,000千円	・申請2件 決算額1,332千円(円単位決算額:1,332,000円) ・GPS森林測量機器(2件)
7月臨時 2月補正	漁業経営ジャンプアップ事業費	林務水産課	2,000	0	ICT技術等の先端技術を活用して、経営基盤の強化・改善を目指す漁業者にその導入経費を支援。 ・対象者 市内の漁業者(3名を想定) ・補助率 2/3(補助対象事業費上限:1,000千円) ・事業費 3,000千円	・申請0件 ・作業アシストスーツ試着会(荷揚げ時等の活用シミュレーション)を鳥取港で実施したが、50千円程度の自己負担額に難色を示す者が多くいた。 ・漁業協同組合と連携し、漁業者の水中ドローン導入について検討(労働性の改善)を行ったが、小規模漁業者では導入コストに対し収益性が低く、費用対効果が見込み難いため、導入に難色を示す者が多くいた。
9月補正	安蔵森林公園施設管理費	林務水産課	63	63	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料62,039円
5月臨時	タクシー代行サービス支援事業費	交通政策課	5,400	5,360	タクシー事業者に対し、経営改善を目的に実施する商品受取、配送サービス等に要する運賃を1回あたり2,000円を上限に支援する。 ・事業期間 令和2年5月15日～令和3年3月31日	・5月実績 205,500円(148件) ・11月実績 409,000円(243件) ・6月実績 681,000円(477件) ・12月実績 572,000円(331件) ・7月実績 672,500円(457件) ・1月実績 590,500円(341件) ・8月実績 770,000円(495件) ・2月実績 497,500円(283件) ・9月実績 521,500円(324件) ・10月実績 440,000円(260件) 計 5,359,500円
6月先議	公共交通感染拡大防止支援事業費	交通政策課	2,750	2,492	バス・タクシー事業者に対し、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るための物品購入費用を支援する。 (補助上限額) ・バスターミナル 150,000円 ・バス車両 10,000円/台 ・タクシー車両 5,000円/台	・7月実績 56,982円(1件) ・12月実績 358,831円(3件) ・8月実績 33,018円(1件) ・2月実績 900,000円(1件) ・10月実績 50,000円(1件) ・3月実績 412,933円(7件) ・11月実績 680,000円(1件) 計 2,491,764円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	路線バス運行継続緊急支援事業費	交通政策課	218,000	218,000	路線バスの継続運行を図るため、市内路線バス事業者に対し、1系統あたり2,000千円の補助金を交付する。 ・日ノ丸自動車(株) 81系統 ・日本交通(株) 29系統	8月28日補助金交付 ・日ノ丸自動車(株) 162,000千円(2,000千円×81系統) ・日本交通(株) 56,000千円(2,000千円×28系統)
7月臨時	公共交通利用促進支援事業費	交通政策課	5,280	5,280	公共交通の利用回復を目的に実施される「公共交通利用促進キャンペーン」に係る経費を支援する。 ・キャンペーン期間:令和2年8月1日～11月30日 ・実施主体:麒麟のまち公共交通利用促進協議会	8月14日補助金交付 5,280千円 ・公共交通利用促進キャンペーンとして、路線バス、鉄道を利用して麒麟のまち圏域の観光施設を巡るスタンプラリー「麒麟のまち のんびりほのほの旅スタンプラリー」を8月1日から開始。11月末にキャンペーン終了。 応募総数:784件
9月補正 2月補正	路線バス利便性向上支援事業費	交通政策課	2,280	783	路線バスの利用を喚起するため、バス路線への路線番号の設定及び路線番号を活用した鳥取バスターミナルの案内表示や路線図の改良など、利用環境の向上に係る経費を支援する。 ・実施主体:一般社団法人鳥取県バス協会 ・補助率:1/2	10月30日補助金交付 782,600円 ・バス路線への路線番号の設定を委託。 実施期間:令和2年10月20日～令和3年10月予定
6月先議	まちなか情報誌発行支援事業	中心市街地整備課	2,716	2,716	商店街の取り組みやまちなかで開催されるイベント情報のほか、支援策や感染予防策などを積極的に発信し、市民への周知を図るとともに、中心市街地への集客に特化したまちなか情報誌を発行。 ◆令和元年度の配布範囲は中心市街地とその周辺地域(吉成一带を追加配布) 市報折込11,000部×年4回発行、各施設設置3,000部×年4回発行 ◆今年度の新規配布先(配布数2,800世帯×年4回発行) 的場、大覚寺一带:1,500部 田島、西品治一带:1,300部 ◆新規設置(設置数200部×年4回発行) 市内幼稚園・保育園、中心市街地に隣接する文化センター内子育て広場。 ◆年2回特定地域へのポストイン(配布数4,000部×年2回発行)	・令和2年度中心市街地エリア情報誌「わか」作成業務 委託契約締結(令和2年6月19日) ・わか夏号(2020年8月1日発行)、今後、秋・冬・春号も順次発行予定 ◆発行部数等予定 ・中心市街地とその周辺地域 配布数:市報折込13,300部×年4回発行、各施設設置2,700部×年4回発行 ※市報折込には、的場等新規配布先2,800部含む ・新規設置(設置数1,000部×年4回発行) 市内保育園、子育て支援センター等 ・年2回特定地域へのポストイン(配布数4,000部×年2回発行 秋・春号)
6月先議	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	中心市街地整備課	2,500	2,500	鳥取駅前風紋広場周辺において、年間を通じイルミネーションを設置し、駅前エリアにおける一体的なライトアップ演出等を実施。 ◆(イルミネーション設置規模) 風紋広場 樹木:4,000球×5本=20,000球	・令和2年11月17日に事業者決定し、契約締結。 ・令和3年1月31日にて業務完了。以降毎日点灯。 (けやき広場日没～23時、風紋広場日没～22時)
9月補正 2月補正	まちなかデジタルサイネージ設置事業費	中心市街地整備課	4,895	0	商店街の取り組みやまちなかで開催されるイベント情報、全市的な観光、文化、芸術、交通等の情報発信、及び新型コロナウイルス感染症の情報提供も、まちなかの賑わいを取り戻すための環境整備を図るため、デジタルサイネージを設置。 ◆デジタルサイネージ機器設置及び情報発信コンテンツの構築、運用に係る経費 ◆デジタルサイネージ設置委託 4,895千円・・・a 情報発信コンテンツ運用・更新 165千円・・・b 電気料金 17千円・・・c、インターネット利用料 9千円・・・d 合計(a+b+c+d)=5,086千円(税込)	・令和3年3月18日にプロポーザルにて事業者を決定し、令和3年3月31日に契約締結。 ・令和3年6月末までに設置予定。

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	健康器具系 施設整備事 業	都市環境課	35,000	33,330	新型コロナウイルス感染症に関する外出自粛等の影響により、市民の健康維持・増進が課題として認識されていることから、市民の健康維持を目的として、屋内と比較して密集・密接の状態になりにくい市内の公園に健康器具系施設を設置する。 健康器具系施設設置工事 工事請負費 40,000千円（市内9公園）△5,000千円＝35,000千円	○健康器具系施設設置工事(その1) 請負金額 11,220千円（3公園） R3.2.8完成 立川南公園・用瀬町運動公園・国府町あおば公園 ○健康器具系施設設置工事(その2) 請負金額:11,220千円（3公園） R3.2.8完成 秋里1号公園・美保公園・湖山公園 ○健康器具系施設設置工事(その3) 請負金額:10,890千円（3公園） R3.2.18完成 湖山池公園・気高町浜村砂丘公園・青谷町空浜公園
7月臨時	インフラ維持 管理プラット フォーム構築 事業	道路課	10,803	10,803	通報受信のデジタル化により、インフラの不具合について、市民が職員と直接会わなくても、破損状況の写真・位置情報を地図上で分かりやすく通報することが可能となり、進捗状況についても即時に確認できるシステムを構築することで、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を図る。 事業内容：インフラ破損情報自治会通報システム構築、災害情報共有システム連携機能追加 事業費：10,803千円	・8/3 地区会長会でシステム概要とスケジュールを説明 ・8/11 委託契約締結（インフラ維持管理プラットフォーム構築業務） 委託期間：令和2年8月11日～令和3年3月31日 委託料：10,351千円 ・1/20 委託契約締結（災害情報共有システム連携機能追加業務） 委託期間：令和3年1月20日～令和3年3月31日 委託料：452千円 ＜今後の予定＞ ・R3年3月…地区会長会で運用に向けたシステムの詳細説明 ・R3年4月…町内会へマニュアル配布、数地区で試験運用実施 ・R3年6月…本格運用開始
6月先議 9月補正 2月補正	住宅小規模リ フォーム助成 事業費	建築住宅課	192,988	186,518	市内に本社を有する施工業者を利用した住宅リフォームに対し、工事費用の20%（上限20万円。18歳以下の子ども、障がいのある方、65歳以上の方が同居する場合は、上限30万円）を助成する。 【予算額】 助成額：191,681千円 事務費：1,307千円（広告費、通信運搬費等）	助成希望の受付：7月1日～7月31日 公開抽選会：8月7日 応募者：1,086名 当選者：186名（39,910千円） ●当選者186名（中止・対象外者：13名） ○助成申請者：173名、助成申請額：36,601,000円 ●追加当選者900名（中止・対象外者：136名） ○助成申請者：764名、助成申請額：153,060,000円 ■最終申請者：919名 最終助成額：185,575,000円 ・支出済額：185,575,000円 ★経済効果12億9千万円
6月先議	子どもたちの 見守り活動等 情報提供支 援事業	教育総務課	4,705	3,773	新型コロナウイルス感染症対策として小・中・義務教育学校において分散登校等を実施するにあたり、地域の見守り活動などの実施する。学校における急遽の予定変更等の情報を地域の方々と共有するため、各学校の電話にガイダンス機能を導入する。 ・小・中・義務教育学校の電話への自動音声ガイダンス機能の導入 ①留守番電話機能設定 11,000円×30校＝330,000円 ②リモートフォン（留守番電話装置）の設置 58,300円×9校＝524,700円 ③電話機更新 275,000円×14校＝3,850,000円	①音声ガイダンス機能 37校整備 ②リモートホン 4校整備 ③電話機 14校整備

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	学校施設衛生環境改善事業費	教育総務課	39,692	39,692	各小・中・義務教育学校に瞬時に多くの人を検温することができるサーモグラフィカメラを整備するとともに、教室を効率的に換気するためのサーキュレーター等を設置し、児童生徒の健康管理や感染予防の強化・徹底を図る。 ・サーマルカメラ整備 ①ドーム型サーマルカメラシステム一式 48箇所 ②タブレット式カメラ 9箇所 ・サーキュレーター 57箇所(1,368台) ・加湿空気清浄機 57箇所(734台)	ドーム型サーマルカメラシステム 10月整備(48箇所) 端末型体温測定カメラ 10月整備(9箇所) サーキュレーター 11月整備(57箇所・1368台) サーキュレーター(追加発注分) 3月整備(14箇所・42台) 加湿空気清浄機 1月整備(57箇所・734台) 加湿空気清浄機(追加発注分) 3月整備(14箇所・21台)
4月臨時	放課後児童対策事業費	学校教育課	2,833	1,828	放課後児童クラブのマスクや消毒液等の衛生用品を確保し、衛生管理、児童支援員等の感染予防に努める。 ・衛生用品 一式 2,833千円 手指消毒用アルコール詰替用、布マスク、非接触体温計、除菌洗浄剤、次亜塩素酸溶液、消毒拭き取り用ペーパータオル、液体せっけん詰替用 など	・消耗品【執行額:1,828千円】 手指消毒液・ボトル・詰替用(591千円)、ペーパータオル(219千円)、ジアンック・ジアンック用スクイズボトル(153千円)、シャボネット(200千円)、非接触型温度測定器(665千円)
7月臨時	放課後児童対策事業費	学校教育課	32,167	17,288	新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクや消毒液等の衛生用品を追加配備し、放課後児童クラブの衛生管理、児童・支援員等の感染症予防に努める。 ・マスク、手指消毒用アルコール等、ウイルス除去対策等機器 32,167千円	・消耗品、備品購入・修繕【執行額:17,288千円】 マスク(大人用)749箱(子供用)41,450枚、フェイスシールド735枚、クリアマウスシールド24枚、中厚手ゴム手袋247袋、ビニール手袋196箱、冷感マスク90袋、ペーパータオル3,153袋、非接触体温計45個、アルコールディスペンサー78個、アルコールディスペンサー用消毒液154個、汚物処理キット5セット、消毒用アルコールタオル597個、消毒用アルコールタオル詰替用25袋、キッチンペーパー180袋、泡石鹸用ボトル71個、物品消毒用アルコール(17L・5L)各1個、手指消毒アルコール(5L)115個(1L・個)187個(1L・箱)2箱、ハンドスキップ詰替用9本、キッチンアルベットの3個、アルコール除菌スプレー(500ml・1L)計17本、消毒液用空ボトル84個、サーキュレーター機能付き扇風機54台、空気清浄機61台、ジアンック(5kg)1個、シャボネット(5L)45個、ピオレU(本体・詰替用)各2個、ジアクリン泡5本、除菌用ウェットシート4袋、空気浄化フィルター213個、使い捨てふきん1巻、エリエールバケツ型・詰替用296個、CO2濃度測定器74個、エレファフォーム232個、卓上サーキュレーター9台、網戸設置7か所、間仕切りカーテン1箇所、換気扇設置1箇所 ほか
9月補正 12月補正	放課後児童対策事業費	学校教育課	64,547	22,271	新型コロナウイルス感染症対策のために一斉臨時休業を実施したことに伴い、放課後児童クラブを長期休暇と同様の開設対応とした。また、消毒等感染症対策を徹底するため、業務のかかり増し経費が発生している。これらに対応するため、必要な運営経費を補助するもの。 ・一斉臨時休業及び分散登校時対応に伴う追加的経費 18,038千円 ・かかり増し経費 35,500千円 ・一斉臨時休業及び分散登校期間に放課後児童クラブを利用自粛した家庭への返金補助 11,009千円	【クラブに支払済】 ・一斉臨時休業及び分散登校時対応に伴う追加的経費 18,038千円 ・かかり増し経費 1,879千円 ・一斉臨時休業及び分散登校期間に放課後児童クラブを利用自粛した家庭への返金補助 2,353千円
4月臨時	放課後子ども教室推進事業費	学校教育課	122	63	放課後子ども教室のマスクや消毒液等の衛生用品を確保し、衛生管理、児童支援員等の感染予防に努める。 ・衛生用品 一式 122千円 手指消毒用アルコール詰替用、布マスク、非接触体温計、除菌洗浄剤、次亜塩素酸溶液、消毒拭き取り用ペーパータオル、液体せっけん詰替用 など	・消耗品(執行額:63千円) ペーパータオル(10千円)、ジアクリン泡(11千円)、ジアンック・ボトル(6千円)、シャボネット(8千円)、非接触型温度測定器(28千円)購入

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時	放課後子ども教室推進事業費	学校教育課	742	251	新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクや消毒液等の衛生用品を追加配備し、子ども教室の衛生管理、児童・支援員等の感染症予防に努める。 ・マスク、手指消毒用アルコール等、ウイルス除去対策等機器 742千円	・消耗品【執行額:176千円】 フェイスシールド(2千円)、マスク(14千円)、アルコールディスペンサー・ディスペンサー用消毒液(22千円)、非接触体温計(20千円)、中厚手ゴム手袋・ビニール手袋(2千円)、手指消毒液(43千円)、アルコールウェットティッシュ(4千円)、空気浄化フィルター(33千円)、アルコール除菌スプレー(14千円)、CO2濃度測定器(15千円) ほか ・備品【執行額:75千円】 サーキュレーター(34千円)、空気清浄機(41千円)
6月先議	学校の臨時休業に伴う学習等支援事業費	学校教育課	6,559	6,556	新型コロナウイルス感染症により学校が休業となった場合、家庭での学習が重要となる。現在、すべての家庭がICT機器による学習ができる環境にはなく、学校では児童生徒用のプリント教材を作成・配布し家庭学習の支援を行っているが、必要な教材作成の経費が不足している。 家庭学習に必要な教材を作成し、計画的に配布することにより、すべての児童生徒の家庭学習を確実に支援することができる。 ・プリント教材作成費用 6,559千円 小学校(39校)＋義務教育学校(4校) 中学校(13校)＋義務教育学校(4校)	・プリント教材作成費用(印刷機トナー代、用紙代など) 小学校(39校)・義務教育学校前期課程(4校) 3,638千円購入 中学校(13校)・義務教育学校後期課程(4校) 2,194千円購入
5月臨時 2月補正	ICTを活用した学校教育活動支援事業費	学校教育課	28,708	28,412	・GIGAスクールサポーター業務委託 8,050千円 学校のICT化を進めるため、ICT環境整備等に係る業務を委託 ・eラーニング教材の導入 19,008千円 家庭学習を支援するデジタル教材(5教科)のアカウントを全児童生徒に配布 ・Wi-Fi環境整備支援 13,350千円 インターネット環境が整備されていない家庭に対する支援として、Wi-Fi環境を整備した家庭に対し上限1万円を助成 補助対象:工事費、ルータ購入費またはレンタル料(3月まで)、通信費(3月まで)	・GIGAスクールサポーター業務委託 3事業者に業務委託(R2.6～R3.3) ・eラーニング教材の導入済 全児童生徒活用(R2.6～R3.3) ・Wi-Fi環境整備支援 157件申請 申請額 1,473,432円
6月先議 9月補正 2月補正	GIGAスクール構想事業費	学校教育課	124,563	124,551	令和2年度から令和5年度を目途とし、順次、児童生徒向けの端末を1人1台となるよう整備する予定であった。しかし、災害や新型コロナウイルス感染症等の発生による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを効果的に活用して全ての子どもたちに学ぶ機会を保障する1人1台端末の整備を早期に実現するため、令和2年度内に前倒して整備することが必要となった。 【6月先議】 ・タブレット端末整備 児童生徒用:10,854台、教員指導用:915台 【9月補正】 ・校内ネットワーク整備:35校 ・大型モニターへの接続機器購入:581セット ・通信装置(カメラ・マイク)購入:61セット	・児童生徒用タブレット 令和3年3月末納品完了。 ・教員用タブレット 令和3年2月末納品完了。 ・校内ネットワーク整備 令和3年2月末整備完了。 ・通信装置(カメラ・マイク)購入 令和2年12月末納品完了。 ・大型モニターへの接続機器購入 令和3年1月末納品完了。
7月臨時 2月補正	児童生徒こころのサポート事業費	学校教育課	3,577	2,904	新型コロナウイルス感染症により例年と違った「新しい生活様式」での学校生活となり、ストレスや悩みを抱える児童生徒が増えているため、児童生徒相談員の配置校を増やし、より丁寧に児童生徒の変化を捉え、その悩みや不安に早期に対応できるよう支援体制を充実させる。 ・児童生徒相談員の増員 5名	・児童生徒相談員 4名配置 2名(R2.9～R3.3)、1名(R3.1～R3.3)、1名(R3.2～R3.3)

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
7月臨時 2月補正	修学旅行の計画変更に伴う支援事業費	学校教育課	5,000	3,937	新型コロナウイルス感染症対策のため、修学旅行の延期が行われており、当初予定していた行き先の変更や、学習内容の変更等に係るキャンセル料などが発生し、保護者への経済的な負担が発生している。 そのため、修学旅行の延期や変更等により発生したキャンセル料に対して支援を行うことで、保護者の経済的な負担軽減を図る。 ・小学校(6年生)・義務教育学校(6年生) 1,526人 ・中学校(3年生)・義務教育学校(9年生) 1,488人 16,563千円	・該当校へ補助金を交付 小学校(6年生)・義務教育学校(6年生) 4校 138千円 中学校(3年生)・義務教育学校(9年生) 15校 3,799千円
5月臨時 7月臨時	衛生管理費	学校保健給食課	24,764	24,622	小・中・義務教育学校への感染拡大予防のための、消毒液・非接触式体温計等の衛生用品の購入。 ・小・中・義務教育学校56校(小学校39校、中学校13校、義務教育学校4校)、約16,000人 ・衛生用品購入費 24,764千円	・衛生用品購入済額 24,622千円 (購入品目) マスク、フェイスシールド、清掃用ペーパータオル 次亜塩素酸ナトリウム溶液、次亜塩素酸ナトリウムスプレー 非接触式体温計、手指消毒用アルコール、液体石けん など
6月補正 2月補正	学校給食運営事業費	学校保健給食課	9,973	9,973	令和2年3月の学校臨時休業により中止となった学校給食の食材に係る補償を行う。 ・ごはん・パン 6,839千円(計画)(ごはん126,653食、パン44,930食) ・牛乳 3,157千円(計画)(牛乳200,919食)	・ごはん・パン 6,839千円(ごはん126,653食、パン44,930食) ・牛乳 3,134千円(牛乳199,445食)
7月臨時 2月補正	給食センター熱中症対策整備費	学校保健給食課	3,455	3,455	新型コロナウイルス感染症等による夏季休業の短縮に伴い、7月27日から7月31日に学校給食を実施するために必要となる調理員の熱中症対策を行う。 ・スポットクーラー設置 3,195千円(8給食センター 11台) ・エアコン設置 1,936千円(鹿野給食センター)	・スポットクーラー 1,706千円(8給食センター 11台) ・エアコン 1,749千円(鹿野給食センター)
9月補正	給食配送委託費	学校保健給食課	1,637	1,637	新型コロナウイルス感染症等による夏季休業の短縮に伴い、7月27日から7月31日に学校を開校することとなった。現行の給食配送委託業者により、この間の学校給食の配送体制を確保する。 ・変更契約による業務実施期間の追加	・業務実施追加日数 5日 ・変更契約額 1,636,250円増額(原契約額 年65,450,000円)
9月補正	緊急時給食継続事業費	学校保健給食課	8,658	8,656	調理員等の新型コロナ感染症罹患等により、学校給食センターが急遽休止する事態に備え、非常用給食(カレー、汁)を備蓄する。 ・小・中・義務教育学校56校分 カレー・汁各16,000食	・救給カレー 5,571千円(16,020食) ・救給根菜汁 3,085千円(16,000食)
9月補正	県産水産物学校給食提供事業費	学校保健給食課	18,265	17,874	外食・宿泊需要の低迷等への対策と合わせて、県産水産物の消費促進を図り、魚食普及につなげることを目的に創設された県産水産物学校給食提供事業補助金を活用し、学校給食における食育を推進する。 ・小・中・義務教育学校56校へ県産水産物を食材とする給食を提供 ・各校年12回まで。各回1人あたり100gまで可能。 ・計画:181,344食提供(15,112食×12回)	・サーモン、タラ、サワラ、ヤマメ、赤ガレイ等の県産魚 188,840食提供 (各学校給食センターにおいて、令和2年9月から月2回程度実施)
6月先議	社会教育施設衛生用品購入事業費	生涯学習・スポーツ課	1,269	1,269	社会教育施設へ消毒液等を購入・設置し感染拡大防止を図る。 ・社会教育施設20か所	【社会教育施設20か所】 ・アルコール消毒液447千円、除菌・洗浄液380千円 手袋26千円、ペーパータオル390千円 マスク19千円、せっけん7千円
6月先議	さじコスモスの館運営管理費	生涯学習・スポーツ課	1,043	1,043	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料1,043千円

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
6月先議	体育施設衛生用品購入事業費	生涯学習・スポーツ課	6,161	6,161	体育施設へ消毒液等を購入・設置し感染拡大防止を図る。 ・体育施設100か所	【体育施設100か所】 ・アルコール消毒液1,202千円、除菌・洗浄液2,934千円 手袋1,461千円、ペーパータオル185千円 マスク325千円、せっけん54千円
6月先議 2月補正	テレビ観望システムを活用した星空魅力アップ事業	生涯学習・スポーツ課	2,979	2,979	星空を直接望遠鏡で見るだけでなく、画像をモニターに映写するシステムを構築し、利用制限緩和に伴い増加が予想される来館者等へ3密を避けてサービスを提供する。 また、星空画像をインターネットにリアルタイム配信することで、新型コロナウイルス感染症等を原因とする外出が困難な状況においても星空の魅力を発信できる環境を整備する。	受託者：(株)金居商店 契約日：令和2年7月28日 委託額：2,979千円(支払済) 毎週土曜日にテレビ観望システムを活用した観察会を実施。
7月臨時 2月補正	安全・安心な環境づくり事業費(さじアストロパーク)	生涯学習・スポーツ課	2,659	2,659	さじアストロパークにおいて、多くの来館者が安全・安心に利用いただく環境を提供するためタブレット式カメラを設置し、密閉となりやすい天文台の換気機能を向上し団体利用の受け入れ態勢を整える。 【タブレット式カメラ設置】 【換気システムの導入】 ○換気設備の設置(プラネタリウム室、大型望遠鏡観測室) ○外気受入吸入口の設置(1階ロビー)	・タブレット式カメラの設置 129千円 ・換気システムの導入 受託者：三和商事(株) 契約日：令和2年9月3日 委託額：2,530千円(支払済) プラネタリウムや大型望遠鏡観測室の利用拡大。
7月臨時	スポーツイベント再開支援事業費	生涯学習・スポーツ課	1,200	1,200	感染症予防に係る衛生用具(非接触型体温計、パーテーション、フェイスシールド等)購入費を鳥取市体育協会に補助し、安全にスポーツに取り組む環境を整える。	補助金総額：1,200千円 補助金交付決定：令和2年7月30日 概算払：令和2年8月18日(1,200千円) 交付先：鳥取市体育協会
7月臨時	ガイナレ鳥取Go!Go!Go!応援事業費	生涯学習・スポーツ課	1,934	1,596	ガイナレ鳥取の公式戦に誘客を進めることで、スポーツを通じたまちの賑わいを創出する。	○キーブディスタンス啓発ステッカーの作成・貼付 実施日：令和2年7月18日 金額：377千円 ○ホームタウンデイ誘客(Go!Go!Go!作戦) 実施日：令和2年10月31日【鳥取市ホームタウンデイ】 金額：1,219千円
9月補正	安全・安心な環境づくり事業費(社会教育施設)	生涯学習・スポーツ課	188	188	夜間に会議室の利用の多い気高町コミュニティセンターの大会議室に網戸を設置することにより、安心・安全かつ快適に施設を利用できるようにすることで新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら、市民活動を推進できる環境を整える。	令和2年12月、網戸設置完了 金額：188千円
9月補正 2月補正	文化センター施設管理費	生涯学習・スポーツ課	2,148	2,148	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料2,148千円
9月補正 2月補正	体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課	3,443	3,443	市の休業要請に対応した期間の料金収入等の減少により必要となる施設維持管理費相当分を支援することで、指定管理施設の管理維持体制の持続化と円滑な管理を図る。	指定管理料3,443千円
9月補正	体育施設スマート予約システム導入事業費	生涯学習・スポーツ課	54,502	0	学校体育施設の予約をWEBで一括管理することで、効率的な施設予約ができるだけでなく、人との接触の機会を減らし新型コロナ感染症の感染リスクを軽減することができ、多くの方に体育館を利用してもらえるような環境を整える。	【令和3年度へ繰越して執行】 受託者：株式会社ケーオウエイ 契約日：令和3年2月5日 委託額：54,450千円 早期の運用開始に向けてシステム開発中。

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額	R2年度決算額	事業の概要	事業の実績
12月補正 2月補正	成人式開催費	生涯学習・スポーツ課	321	321	成人式開催のため、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図り、1月3日に実施することを予定していたが、感染拡大の状況から延期となった。事前準備にかかった費用とキャンセル料の負担を行う。	受託者：鳥取市成人式実行委員会 委託額：321千円
12月補正	星空解説番組を活用したプラネタリウム拡充事業費	生涯学習・スポーツ課	2,200	2,200	さじアストロパークのプラネタリウム投影前半の専門職員の直接会話による星空生解説を収録解説番組とし、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。専門職員の柔軟な配置が可能となり、各種体験プログラムの円滑な運営と、プラネタリウムの投影回数増加や来場者の積極的な受入れを行う。	受託者：(株)リブラ 委託額：2,200千円
7月臨時 2月補正	安全・安心な環境づくり事業費	文化財課	512	512	県外からの観光利用等で不特定多数の団体利用が見込まれる文化財・博物館等施設に対する、タブレット式体温測定カメラ等の設置に要する経費。 ・タブレット式体温測定カメラを仁風閣、鳥取市歴史博物館、因幡万葉歴史館に各1台設置 ・加湿機能付き空気清浄機を仁風閣に3台設置	・タブレット式体温測定カメラ 385千円 ・加湿機能付き空気清浄機 127千円
6月先議	図書館パワーアップ事業費	中央図書館	11,069	11,068	図書の衛生環境整備や在宅時間の増加に伴う高まる読書ニーズへ対応するために、図書館機能を充実する経費。 ①蔵書の充実(2,850冊) 5,643千円 ②図書消毒機(5台)、衛生用品の購入 4,990千円 ③本の貸出拠点の拡充(コンビニ) 297千円 ④広報チラシ 139千円	①各館・室で図書購入済(2,300冊5,456千円) ②図書消毒機5台(4,290千円)9/23納入。 手指用消毒液、図書用洗浄液 571千円 図書消毒機用紫外線ランプ、抗菌剤291千円 ③7月から「道の駅」コンビニ2ヶ所で予約図書の受取開始。 コンビニ委託料 2ヶ所×10千円×9ヶ月×1.1=198千円 コンビニ搬送用メールバッグ代99千円 ④予約図書のコンビニ受取及び図書館ホームページ利用向上を目的としたチラシを作成し配布、配架。(用紙代29千円、印刷代40千円)
6月先議 9月補正 2月補正	一時借入金 利子	出納室	11,503	11,503	中小事業者へ低金利で制度融資を行った金融機関に対して、金利を補うための原資を提供する預託金を一時借入する際に必要な利子 一時借入額 126億円(R2.10.20～R3.3.31:100億円、R2.11.10～R3.3.31:26億円) 利息0.21%	一時借入金利子合計 11,502,245円 ・利息0.21%で借入 R2.10.20～R3.3.31:60億円 利子5,626,849円 R2.10.20～R3.3.31:40億円 利子3,751,232円 R2.11.10～R3.3.31:26億円 利子2,124,164円

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連予算〔1月臨時補正・2月補正事業〕

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額
2月補正	職員採用試験オンライン化事業費	職員課	869
2月補正	新型コロナウイルス感染症対応職員費	職員課	52,348
2月補正	入札参加資格申請受付システム導入事業費	検査契約課	11,580
1月臨時	本庁舎維持管理費	財産経営課	2,346
2月補正	国土調査事業費(国3次補正)	財産経営課	45,000
1月臨時	生活困窮等包括的支援事業費	人権推進課	3,732
1月臨時	地域食堂感染防止対策支援事業費	人権推進課	2,000
2月補正	フードサポート事業費	人権推進課	2,868
1月臨時	男女共同参画啓発事業費	男女共同参画課	162
1月臨時	防災備蓄事業費	危機管理課	6,712
2月補正	災害対策本部室維持管理費	危機管理課	1,356
2月補正	防災ラジオ整備事業費	危機管理課	65,219
2月補正	市内中学生支援事業費	政策企画課	16,000
2月補正	受験生等PCR検査費用補助金	政策企画課	63,028
2月補正	市政広報費	秘書課	14,343
2月補正	外国人住民相談機能強化事業費	文化交流課	471
2月補正	文化芸術のまちづくり推進事業費	文化交流課	3,070
2月補正	歴史的建造物保存活用事業費	文化交流課	1,279
2月補正	鳥取市DX推進事業費	情報政策課	93,565
2月補正	とっとり暮らし情報キャッチアップ事業費	地域振興課	8,877
1月臨時	地区公民館感染症対策事業費	協働推進課	4,741
1月臨時	緊急小口資金等相談窓口環境整備事業費	地域福祉課	3,333
1月臨時	介護サービス事業継続支援事業費	長寿社会課	22,501
2月補正	在宅介護予防事業費	長寿社会課	3,154
1月臨時	障害福祉サービス事業所等支援事業費	障がい福祉課	11,998
2月補正	保護決定等体制強化事業費	生活福祉課	2,287
2月補正	国民健康保険費特別会計へ繰出	保険年金課	8,682
1月臨時	児童館運営費	こども家庭課	3,600
1月臨時	保育環境改善等事業費	こども家庭課	33,300
1月臨時	地域子ども・子育て支援事業費	こども家庭課	22,700
1月臨時	幼稚園一般管理事務費	こども家庭課	1,400
2月補正	保育所緊急整備事業費補助金(国3次補正)	こども家庭課	329,798
1月臨時 2月追加	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	保健医療課	1,304,454
1月臨時	感染症対策推進事業費	保健医療課	48,034
2月補正	市立病院事業会計へ繰出	保健医療課	26,694
1月臨時	インターネットショップ事業費	経済・雇用戦略課	29,268

予算計上	事業名称	所属名称	R2年度最終予算額
2月補正	関西情報発信拠点推進事業費	経済・雇用戦略課	4,000
2月補正	地元企業早期ブランディング事業	経済・雇用戦略課	1,599
2月補正	人材確保デジタル化支援事業補助金	経済・雇用戦略課	15,500
2月補正	中心市街地活性化推進事業補助金	経済・雇用戦略課	1,200
2月補正	あおや和紙工房管理事業費	経済・雇用戦略課	3,667
2月補正	伝統工芸伝承施設受入体制整備事業費	経済・雇用戦略課	3,300
2月補正	企業誘致推進費	企業立地・支援課	47,285
2月補正	労働力確保対策企業支援事業費	企業立地・支援課	15,976
2月補正	中小企業事業再構築支援事業費	企業立地・支援課	113,700
1月臨時	宿泊キャンペーン事業費	観光・ジオパーク推進課	20,320
1月臨時	観光産業育成支援事業費	観光・ジオパーク推進課	9,000
2月補正	とっとりブランド情報発信事業費	観光・ジオパーク推進課	18,503
2月補正	観光拠点磨き上げ事業費	観光・ジオパーク推進課	5,000
2月補正	アドベンチャーツーリズム開発支援事業費	観光・ジオパーク推進課	4,000
2月補正	林業・木材産業強化総合対策事業費(国3次補正)	林務水産課	7,000
2月補正	経営体育成基盤整備事業費(国3次補正)	農村整備課	1,693
2月補正	地域ため池総合整備事業費(国3次補正)	農村整備課	8,800
2月補正	特定農業用管水路等特別対策事業費(国3次補正)	農村整備課	10,800
2月補正	農業用河川工作物応急対策事業費(国3次補正)	農村整備課	1,300
2月補正	基幹水利施設ストックマネジメント事業費(国3次補正)	農村整備課	5,740
2月補正	地図情報デジタル化整備事業費	都市企画課	77,847
1月臨時	路線バス運行継続緊急支援事業費	交通政策課	109,000
2月補正	まちなか情報誌発行支援事業費	中心市街地整備課	1,265
2月補正	公園衛生環境対策事業費	都市環境課	10,440
2月補正	道路空間画像診断AI事業	道路課	1,600
2月補正	社会資本整備総合交付金事業費(国3次補正)	道路課	51,400
2月補正	防災・安全交付金事業費(国3次補正)	道路課	20,700
2月補正	大規模改造事業費(国3次補正)	教育総務課	684,511
1月臨時	放課後児童対策事業費	学校教育課	30,800
2月補正	GIGAスクール構想事業費(単独)	学校教育課	1,500
2月補正	GIGAスクール構想事業費(省庁)	学校教育課	3,798
1月臨時	衛生管理費	学校保健給食課	14,626
2月補正	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	学校保健給食課	2,163
2月補正	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	学校保健給食課	1,318
2月補正	給食センター熱中症対策整備費	学校保健給食課	2,509
1月臨時	体育施設衛生対策事業費	生涯学習・スポーツ課	4,002
1月臨時	社会教育施設衛生対策事業費	生涯学習・スポーツ課	1,757